

人権教育・学習発表展

市内の小・中・義務教育学校では、12月の「人権週間」や「ひびきあいの日」を中心に、一年を通して「人権教育」に取り組んでいます。

市では、小・中・義務教育学校の「人権」に関する取組を広く市民の皆さんに知っていただくため、各校の人権に関する学習の様子や、その成果をまとめた学習発表展を開催しています。

今年度の開催は、新型コロナウイルス感染症等の影響もあり、平成30年度に開催して以来、6年ぶりとなります。

今年度の発表校は、右に記載した7校です。

- 興文小学校
- 北小学校
- 静里小学校
- 中川小学校
- 青墓小学校
- 東中学校
- 江並中学校

第1部 開催済

期間：令和7年2月3日(月)～2月14日(金)
会場：南部サービスセンター(イオンモール大垣2階)

第2部

期間：令和7年2月17日(月)～2月28日(金)
午前8時30分～午後5時15分
会場：大垣市役所1階 多目的スペース



南部サービスセンターでの展示の様子



興文小学校の発表



東中学校の発表

今回は、発表校7校の作品から2点を紹介します。
ぜひ会場で、他の発表校の取組もご覧ください。

「人権Letter」は、大垣市役所市民活動部人権擁護推進室が発行する人権啓発のリーフレットです。今年度は、令和7年2月3日(月)～2月14日(金)に南部サービスセンター(イオンモール大垣2階)で開催された「人権教育・学習発表展」で展示しました。今年度は、令和7年2月17日(月)～2月28日(金)に大垣市役所1階多目的スペースで開催された「人権教育・学習発表展」で展示しました。

人権Letter

No.34
令和7年2月発行

— 法務省 人権啓発キャッチコピー — 「誰か」のことじゃない。 大垣市 市民活動部 人権擁護推進室

「本人通知制度」をご存じですか？

～一人ひとりの人権が尊重された社会の実現に向けて～

本人通知制度とは…？

住民票、戸籍謄抄本等が第三者に交付されたことを、事前登録した方にお知らせします。大切な個人情報の不正請求や不正取得の早期発見・究明、不正取得の抑止を目的としています。



始まった背景は…？

本人の知らないところで、戸籍謄抄本等の大量不正取得が発生し、その情報が、部落差別を背景にした身元調査(結婚差別、就職差別)などに利用されました。全国では、こうした不正取得事案が、現在においても後を絶ちません。そうした、差別、人権侵害等をなくすための人権施策(部落差別の解消に向けた取組)として生まれました。

登録できる人は…？

市内に住民票又は戸籍がある方(過去にあった方も含みます)

登録するには…？

登録費用は無料で、登録期間は無期限です。「申込書」を大垣市役所窓口サービス課へ提出してください。運転免許証、マイナンバーカードなどの本人確認書類も必要です。また、オンラインでの申込も可能です。

詳しくは、市HPをご覧ください。窓口サービス課(0584-47-8759)までお問い合わせください。



市HP

通知までの流れ





市民人権とおく

S H I M I N J I N K E N T O K U

「広報おおがき」などで募集した、心温まる「ちょっといい話」をお届けします。

心に残る先輩のやさしさ

私が高校1年生頃のことです。当時の流行はルーズソックス、細眉に茶髪という時代。ある日の下校中、ふと前を見ると10mくらい先に3年生の先輩、女子2人組が歩いていました。外見はまさに前に書いたとおりです。しかし、2人の先輩の間に挟まれる形で少し腰の曲がった小柄な年配女性の姿がありました。

私が首をかしている時、2人の両手にはたくさんの荷物がありました。それを見た私は、先輩2人が女性の荷物を持ってあげているのだと、察しました。先輩たちは女性の歩くスピードに合わせ、時折優しく話しかけているようにも見えました。当時、駅は階段で、そのまま、駅の改札口まで荷物を持ってあげていました。名前も知らない先輩でしたが、心から尊敬した瞬間でした。

人を外見で判断するのは言語道断です。見習いたい気持ちと心が温かくなった、私の心に残る出来事でした。

Y・Uさん



大垣市人権のまちづくり懇話会委員のコメント

心が温かくなった駅でのワンシーン。きっと何年経っても心に残る出来事だったと思います。茶髪先輩の『思いやり』は、外見とは違った意外な一面を見せてくれました。見た目だけでその人を判断することはできないものですね。偏見のない生き方をY・Uさんのように意識していきたいですね。

「市民人権とおく」の寄稿を随時受け付けています。応募された方には、人権啓発グッズをプレゼントいたします。
みなさんが見た・体験した「ちょっといい話」をお寄せください。
寄稿先については4ページ下をご覧ください。右のQRコードからも応募できます。



人権クイズ ～考えてみましょう～

「人権」ってむずかしい？ 本当にそうでしょうか？ 人権クイズに挑戦してみましょう。
(答えは、4ページにあります)

Q. このマークは何を表しているのでしょうか？



- ① こどもが助けを求めている
- ② お年寄りが助けを求めている
- ③ 目に障がいがある人が助けを求めている

第76回人権週間

国連で「世界人権宣言」が採択された12月10日は「人権デー」です。我が国では、毎年12月10日を最終日とする1週間(12月4日～10日)を人権週間として定めています。

令和6年12月4日(水)から始まった「第76回人権週間」を前に、12月1日(日)には、イオンタウン大垣で、岐阜地方法務局大垣支局と大垣人権擁護委員協議会の主催による、人権作品表彰式が行われました。

表彰式では、西濃圏域で募集した「中学生人権作文」及び「小学生人権書道及び人権ポスター」の最優秀賞・優秀賞受賞者が表彰された後、最優秀作文を受賞者自らが発表する朗読会も行われました。

書道・ポスターの受賞作品約100点は、人権週間の間、同会場で開催の「小学生人権書道・ポスター展」にて展示されました。

市内小・中・義務教育学校で最優秀賞・優秀賞を受賞された方

全国中学生人権作文コンテスト大垣大会 優秀賞	優秀賞	興文中学校2年 前川 政季 さん
		南中学校3年 西村 衣里 さん
		西部中学校3年 細谷 凜 さん
		星和中学校2年 柴田 ももこ さん
小学生人権書道及びポスターコンテスト書道部門 優秀賞	最優秀賞	中川小学校3年 藤森 有純 さん
		小野小学校5年 尾関 右京 さん
		静里小学校6年 高橋 結愛 さん
※ポスターコンテストの市内受賞者はありませんでした。		



人権作品表彰式での記念撮影



小学生人権書道・ポスター展

障がい者理解啓発講演会

市は、12月3日から9日の「障害者週間」に合わせ、12月7日(土)に、大垣市情報工房スィンクホールで障がい者理解啓発講演会を開催しました。

講師には、自身も視覚障がい者である加藤一秀さんをお迎えし、「意識していますか? 「思い込み」の存在～一人ひとりが大切にされる社会をめざして～」と題してご講演いただきました。

加藤さんは、白杖、手話、身体障がい者用駐車場という障がい者に関わる身近な話題をはじめ、旧優生保護法にも触れながら、共生社会の大切さを訴えました。参加されたみなさんは熱心に聞き入っていました。



講師の加藤一秀さん